

事業目的

医薬品、栄養素、化学素材、など、我々の生活を支える様々な物質は分子でできている。分子の構造を正確に知ること難しく、製薬、食品、化学、香料、エネルギーなど、分子と関わりの深い産業において、研究開発のボトルネックになっている。我々テクモフは、Metal Organic Framework（以下、MOF）を用いた新規の分子構造決定技術により、世の中に広く存在する様々な分子の構造情報を決定・整理し、科学・産業のあらゆる分野でイノベーションを起こすことを目的とする。

事業内容

本事業では、我々の構造解析手法が適応可能な分子の種類を拡大することで、手法の汎用性を高めつつ、分子の構造決定がクリティカルなボトルネックとなっている新規事業シーズを同定することを目指す。具体的には下記のPOC取得を目指す。

POC1：MOFによる分子構造決定技術のアカデミックラボからテクモフ社への移管

POC2：MOFによる分子構造決定手法の適用範囲拡大

POC3：MOFによるハイスループット分子構造決定インフラを活用した事業モデル確立・パイロット事業開始

事業成果

これまでにPOC1の取得を達成し、アカデミア発の技術をテクモフ社内で滞りなく行える体制が確立された。さらに、POC2においては、これまでにMOFでの構造決定が難しかった親水性の非常に高い化合物や、分子量500以上の中分子への適応が可能になる新規MOFや実験条件が見出されてきており、これまでのところモデル化合物の構造決定に成功している。POC3については、大規模な創薬支援やメタボロミクス企業との協業による事業モデルを確立すべく、当該企業群との協業に向けた議論を開始している。その事業開発の過程で、製薬企業、食品企業に対して当社の構造決定キャパシティを提供する契約がいくつか締結された。

事業者情報

テクモフ株式会社
（東工大発スタートアップ）

所在地：東京都港区

設立年：2024年

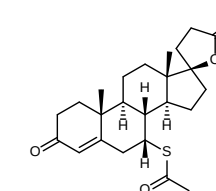
HP:<https://www.tekmof.com/>

 Crystallize the future

TEKMOF

概要図等

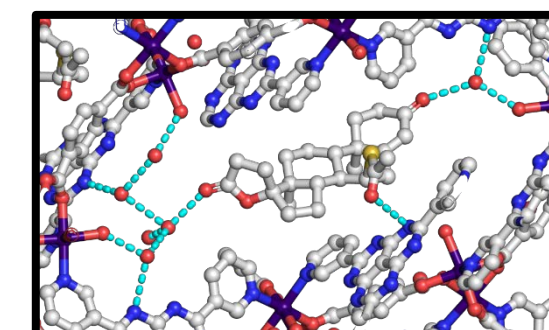
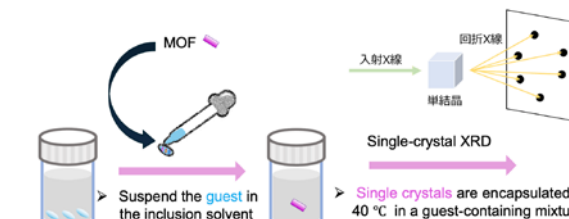
ターゲット分子



MOF結晶



分子のMOF結晶への取り込みとX線測定



分子
構造